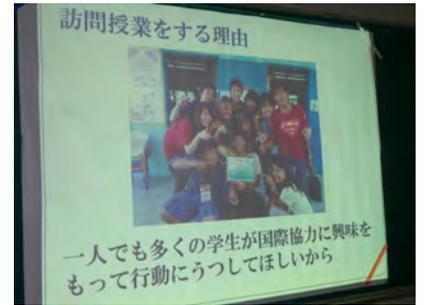




国際卒業生によるNGO紹介(6月24日)7時間目の総合学習の時間を利用して、国際語科卒業生である先輩、先輩が、NGO(学生団体 jolybee)を連れてきてくれました。この団体はフィリピンの貧困地域に住む子どもたちを現地のNPOと共に支援する団体です。発表では、jolybeeの皆さんが実際に現地で交流した、貧困により学校に行けない子どもたちのことを語って下さいました。「ゴミの山(スモークマウンテンと呼ばれている)ではゴミのにおいがひどくて、タオルを使いたいのだけれども、子どもたちの前では『臭い』と言えない」というような、実際に現地に行った人でしか分からないような生の体験を聴かせて下さいました。なお、先輩、先輩は別のNGOに所属しており、後日国際の2年生に発表する予定です。また先輩は上智大学文学部新聞学科に在籍しながら、大学のインターンシップを利用して、今年9月よりケニアのナイロビで半年間、現地のNPOを支援する仕事に就く予定です。



松本先生の隣が、先輩。右の4人がjolybeeのメンバーです。色々な学校で啓発活動を行っています。

スモークマウンテン。子どもたちはここを裸足で歩き、お金になりそうなものを探します。注射針なども落ちていて、危険な場所だそうです。

1年生の生徒も、普段聴くことができない体験の報告に熱心に耳を傾けていました。質問する生徒も多く、関心の高さがうかがえました。

国際でのこのような様々な刺激を受けて、先輩方のように活躍する人材に育ってくださることを期待します。



釜石の高齢者の方と文通しよう! ~「釜石と横浜を手紙でつなげようプロジェクト(仮称)」 横浜市は釜石市と災害協定を結んでおり、国際語科を中心とした本校生徒が昨年2回、瀬谷区が催行したボランティアバスで当地を訪れました。釜石でボランティアをした後、さらに継続してできる支援をしたいと考え、当地のお年寄りとの文通プロジェクトを企画しています。希望者を募集したところ、当初の予想を上回る約38名もの希望者が集まりました。横浜隼人国際語科は、今後も釜石に寄り添って、復興を心で支えていきたいと考えています。

「鈴子の盆」お祭りのボランティアと一緒に楽しみました!(24年8月)

仮設住宅にお住まいの方々とクリスマスリースを作りました!(24年11月)

プロジェクト代表: さんから震災から2年以上の月日が経ち、あまり震災地の現状は伝わって来なくなりました。でも昨年の8月、私が釜石を訪れたときは復興は全くと言っていいほど進んでいませんでした。私たち高校生でもできることはたくさんあります。「何かしたくても何をすればいいのかわからない」と思っている人がきっとたくさんいるはず! これからさまざまなことに取り組んでいくので積極的に参加してください!

今年もボランティアバスが釜石へ!(8/2~4)

これからボランティア活動への思い~3年生の先輩から 横浜隼人はボランティア活動に率先して参加する生徒が多く、どの受け入れ先でも「隼人生はとても礼儀正しく、一生懸命やってくれる」と評判も上々です。今回は、多くのボランティアをしてきた3年生のさんの文章を紹介します。是非この夏、何かボランティアをして社会に視野を広げよう!

私は小学生の頃、初めてボランティアをしました。活動内容は瀬谷駅前の花壇を作るものでした。以来、人のお手伝いをすることに興味を持つようになりました。高校生になると瀬谷フェスティバルというイベントがあり、自分の住む瀬谷区ということもあってか、頑張ろうという気持ちで参加しました。その後、イベントの補助員や障がい者のお手伝いなどをしました。イベントの補助員では人との接し方を学び、障がい者のお手伝いではもっと自分にできることは何かと課題も生まれました。私は瀬谷で育ちましたが、そこではボランティアが色々な面で社会を支えていて、気づかない部分で私も支えられた面があったと思います。高校生としてできる活動は多くあり、それはとてもよい経験になると思います。人と人とのつながりが見られ、また一人一人の個性に触れることができるので、私にとってボランティアは、一つ一つの活動で毎回喜びと課題と感謝が必ず出てくる大切なものとなっています。



部活引退。3年生のみんな、お疲れ様! 国際の3年生もいろいろなクラブで活躍していますが、そろそろ夏の大会を終えて引退する生徒も出てきます。これからは進路に向けて猛ダッシュだ!(写真はソフトボール部3年生。)

国際の生徒は くと、マネージャーの さん)

スピーチコンテストエントリー終了! アメリカ語学研修に次ぐ、国際語科の大きなイベントである「校内英語スピーチコンテスト」のエントリーが終了しました。今年の参加希望者は約15名で、これから夏休みにかけて英語の先生方やネイティブの先生方と文章を練り上げ、11月30日(土)の本番に向けて練習します。毎年レベルの高いILCのスピコンに、今年も乞うご期待!!



ようこそ先輩!(6月1日)松本先生の授業と一緒に参加してくれた先輩は、先輩(東京家政学院大学生生活デザイン学科)先輩は、将来隼人の家庭科の先生を目指しています。これからはいろいろな大学で活躍している先輩が続々と国際に来校します。積極的に話しかけよう!

